



## 男子小学生の65%、女子小学生の71%が 「電子雑誌・電子書籍を知らない」と回答。

### 『子どもライフスタイル調査 2012 冬』結果のお知らせ

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:高野 潔 以下アスキー・メディアワークス)は、『子どもライフスタイル調査2012 冬』を実施いたしました。この度、アスキー・メディアワークスのリサーチ・メディア部門である「アスキー総合研究所」が調査結果をまとめましたので、お知らせいたします。

今回の調査は、アスキー・メディアワークスが発行する男子小学生向けゲーム情報誌「デンゲキニンテンドーDS」と女の子向けゲーム&キャラクター情報誌「キャラぱふえ」の読者を対象に調査を実施し、回答者から小学生を抽出して、集計分析したものです。

#### 調査結果のポイント

- 男子小学生で79%、女子小学生で90%が「読書を好き」もしくは「どちらかと言えば好き」と回答 (P.2)
- 男子小学生の65%、女子小学生の71%が「電子雑誌・電子書籍を知らない」と回答。(P.6)
- 男子小学生の保護者の74%、女子小学生の保護者の57%がご自身の子どもの「もっと本を読んでも欲しい」と回答。(P.8)
- 「電子雑誌・電子書籍を自分の子どもに読ませたくない」と男子小学生の保護者の56%、女子小学生の保護者の63%が回答。(P.8)
- 電子雑誌・電子書籍を子どもに読ませたくない理由は「視力が低下する」「電子書籍を利用する必然性を感じない」がそれぞれ約半数を占める。(P.9)

#### ◇調査概要◇

- |  |   |
|--|---|
| (1) 調査期間:<br>2011年12月1日~2012年1月20日   | (4) 集計サンプル数: 合計834件<br>男子 小1~3年生 99件<br>男子 小4~6年生 79件 |
| (2) 調査方法: 雑誌添付ハガキによるアンケート  |   |
| (3) 調査対象: 小学生とその保護者<br>雑誌「デンゲキニンテンドーDS」、「キャラぱふえ」<br>の読者とその保護者を対象に調査を実施し、回答者<br>から小学生のみを抽出して集計した。 | 女子 小1~3年生 311件<br>女子 小4~6年生 345件                      |

#### 【報道関係のお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 (TEL:03-5216-8125)

※なお、本リリースに掲載しておりますデータを記事にて引用される場合は、「アスキー総研調べ」と出典を明記していただきますようお願いいたします。

# 『子どもライフスタイル調査 2012 冬』

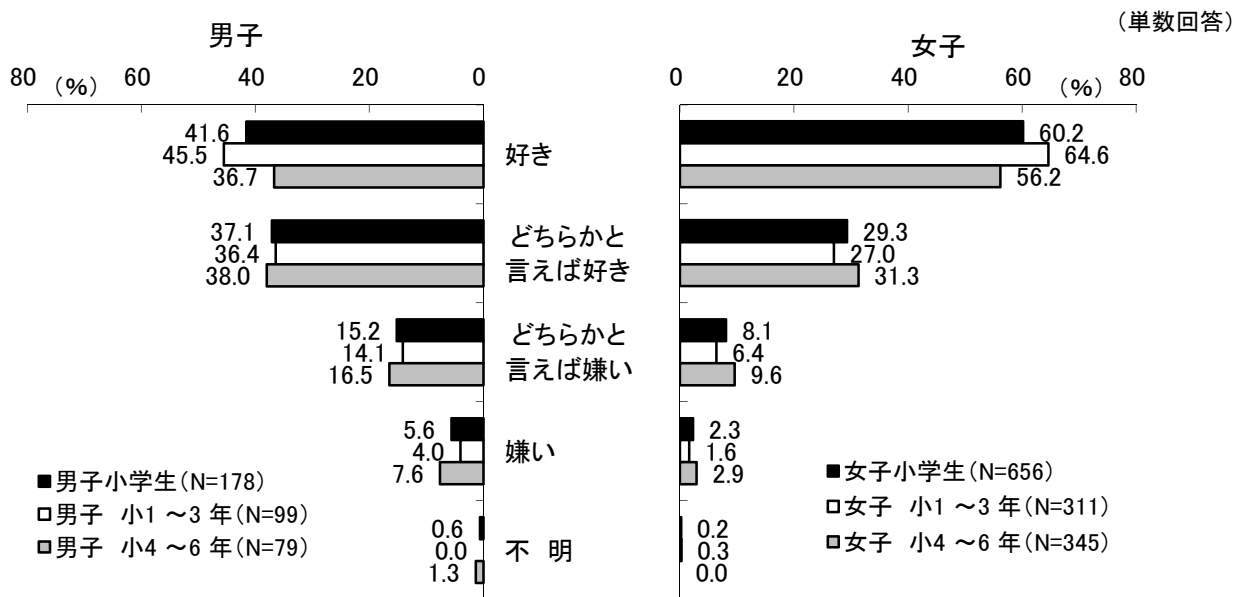
株式会社アスキー・メディアワークス  
アスキー総合研究所

## (1) 読書について

### ○読書が好きかどうか

男子小学生で 79%、女子小学生で 90%が「好き」もしくは「どちらかと言えば好き」と回答。

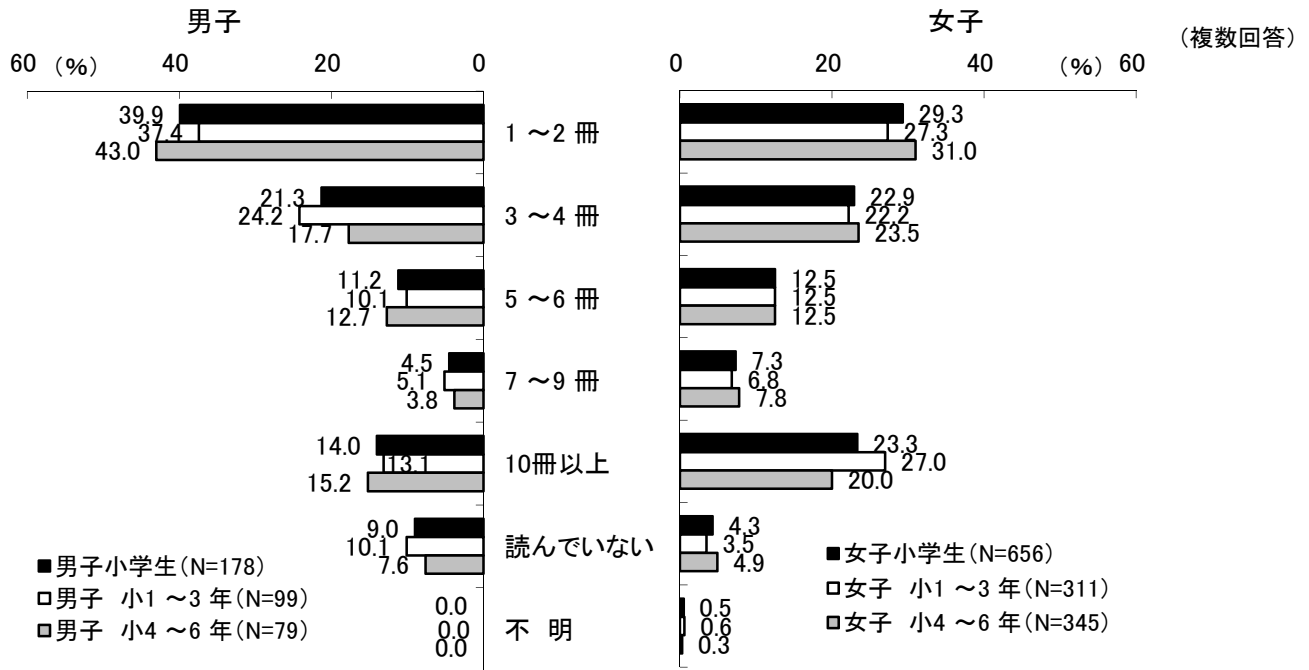
読書(マンガ、雑誌、学習参考書を除く)が好きかどうか聞いたところ、男子小1～3年の82%、男子小4～6年の75%、女子小1～3年の92%、女子小4～6年の88%が「好き」もしくは「どちらかと言えば好き」と回答。特に女子は「好き」という回答の比率が高く、60%を占める。



○1カ月の読書量(マンガ、雑誌、学習参考書を除く)

1カ月の読書量は、「1～2冊」が最も高いが、「10冊以上」も男子小学生で14%、女子小学生で23%を占める。

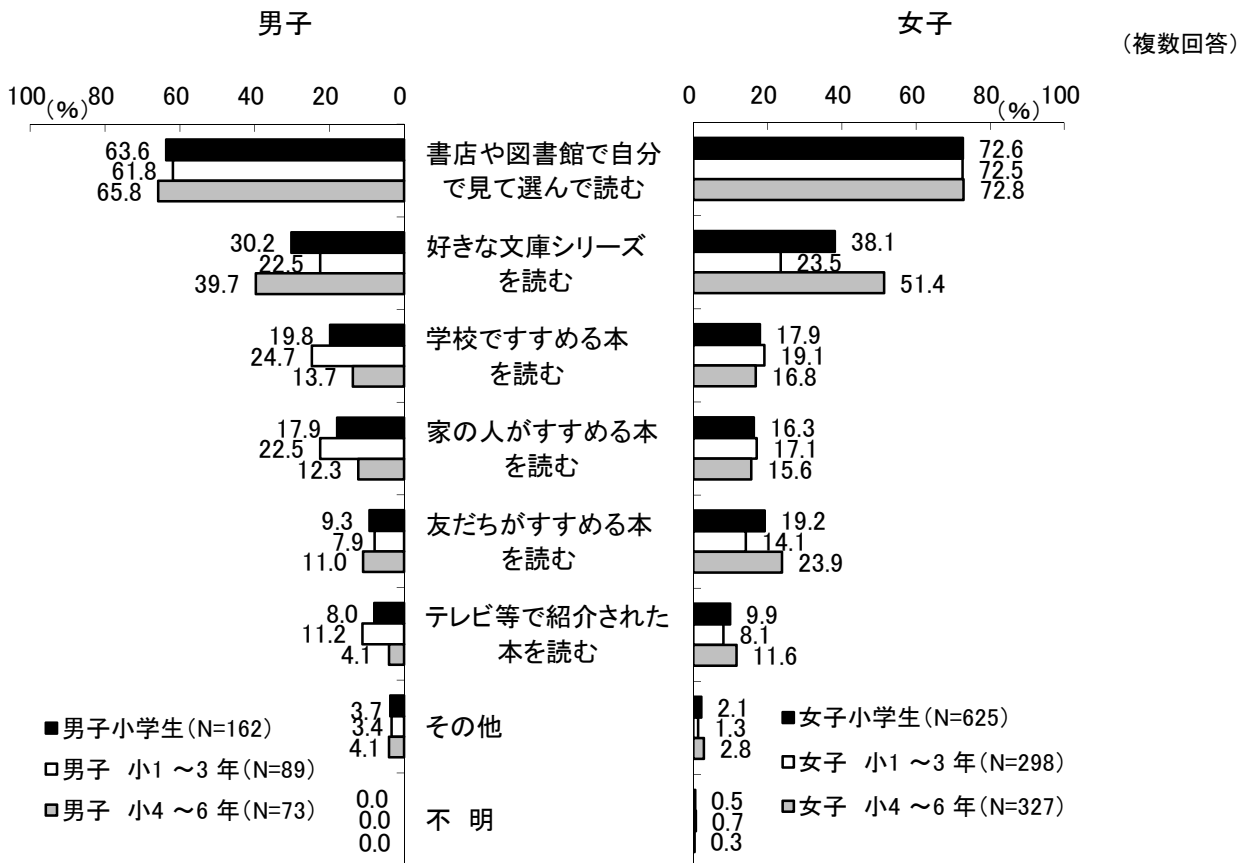
1カ月の読書量(マンガ、雑誌、学習参考書を除く)を聞いたところ、男子小学生の40%、女子小学生の29%が「1～2冊」と回答。女子小学生は、23%が「10冊以上」答えている。一方、「読んでいない」は、男子小学生で9%、女子小学生で4%。



○読む本の選び方(マンガ、雑誌、学習参考書を除く)

読む本は「書店や図書館で自分で見て選ぶ」が、男子小学生で 64%、女子小学生で 73%を占める。

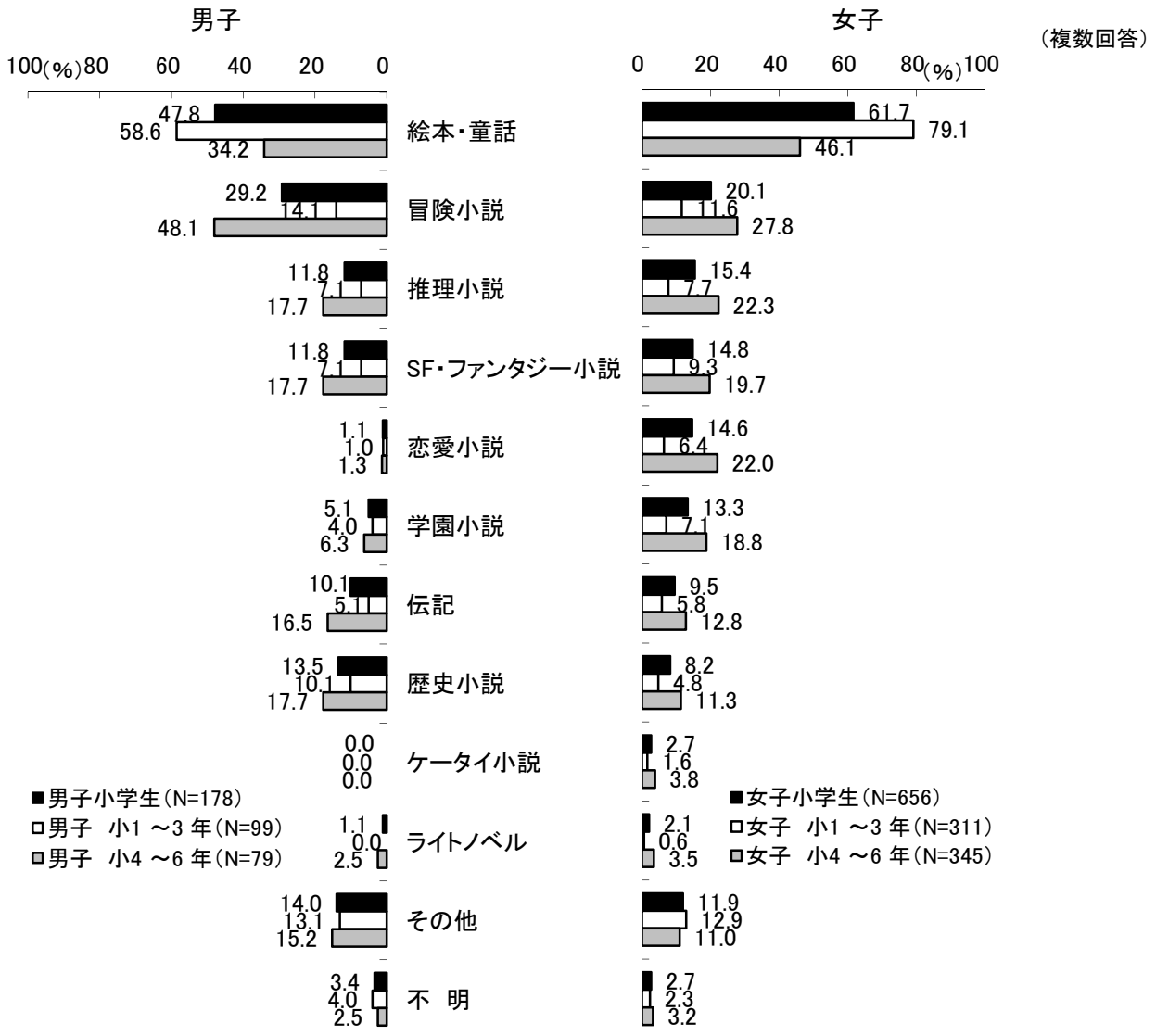
読む本の選び方を聞いたところ、男子小学生の 64%、女子小学生の 73%が「書店や図書館で自分で選ぶ」と回答。「好きな文庫シリーズを読む」が女子小 4～6 年で 51%。



○主に読む本のジャンル

主に読むのは「絵本・童話」。

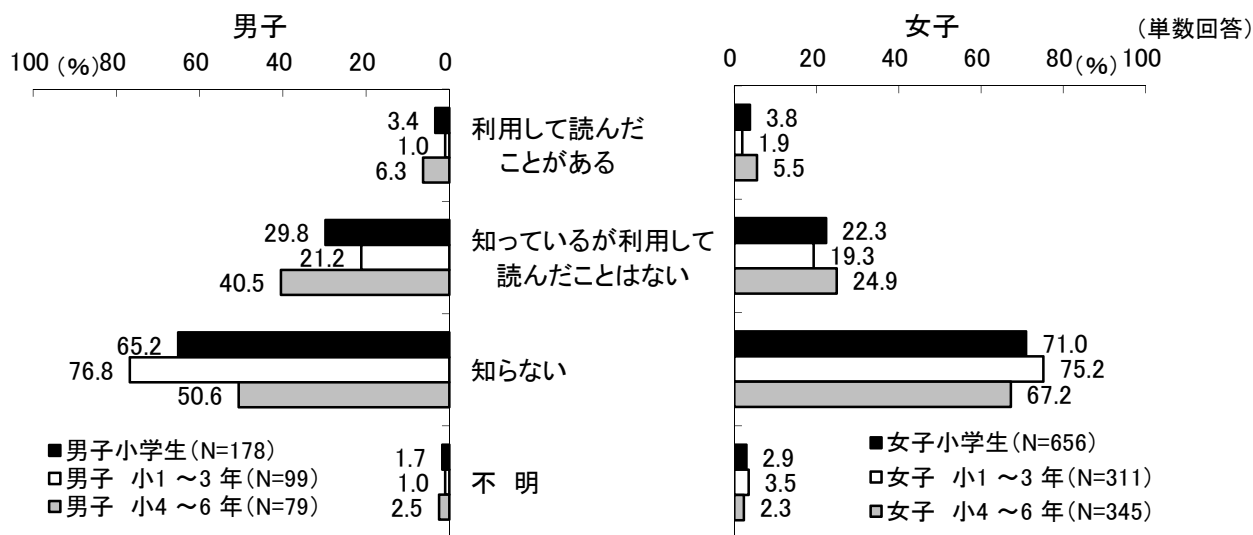
主に読む本のジャンルを聞いたところ、小1～小3年は「絵本・童話」の比率が最も高く、男子小4～6年では「冒険小説」が48%と高い。女子小4～6年は「絵本・童話」が46%。



○小学生の電子雑誌・電子書籍の購読について

男子小学生の 65%、女子小学生の 71%が「電子雑誌・電子書籍を知らない」と回答。

電子雑誌・電子書籍の購読について聞いたところ、男子小学生の 65%、女子小学生の 71%が「知らない」と回答。一方、「利用して読んだことがある」と回答は男子小学生で 3%、女子小学生で 4%。



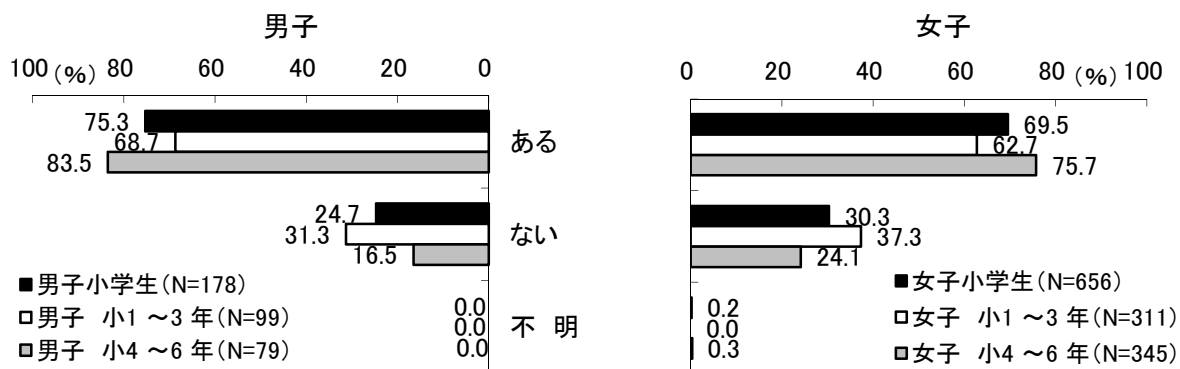
(2) インターネットや携帯電話について

○パソコンでのインターネット利用経験

小学生のインターネットの利用経験は、男子小学生で 75%、女子小学生で 70%。

パソコンでのインターネット利用経験(家庭以外も含む)を聞いたところ、小4～6年生では男子 84%、女子 76%。小1～3年生では、男子 69%、女子 63%。

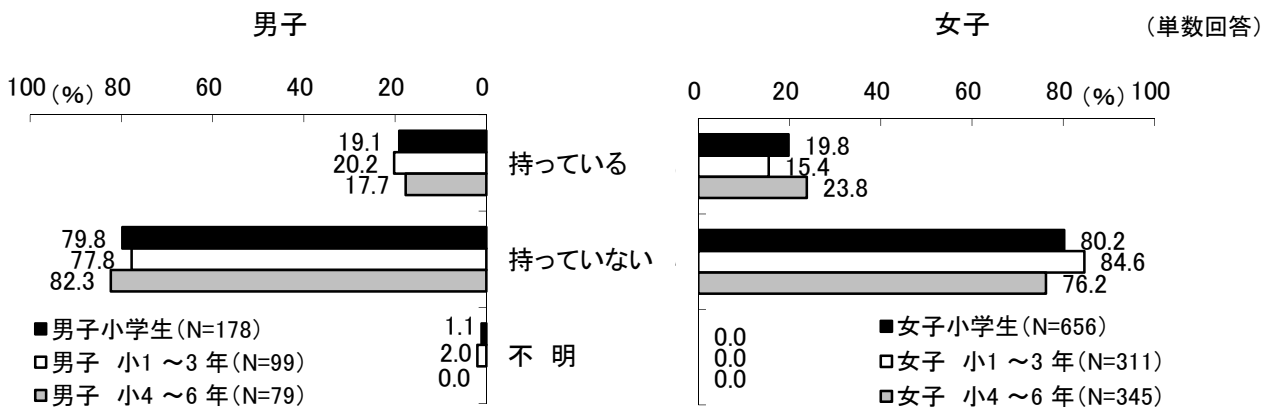
(単数回答)



○携帯電話の所有率

携帯電話の所有率は、小学生全体で19～20%、小4～6年生で18～24%。

自分の携帯電話の所有について聞いたところ、男子小1～3年生は20%、女子小4～6年生は24%の所有率となっている。



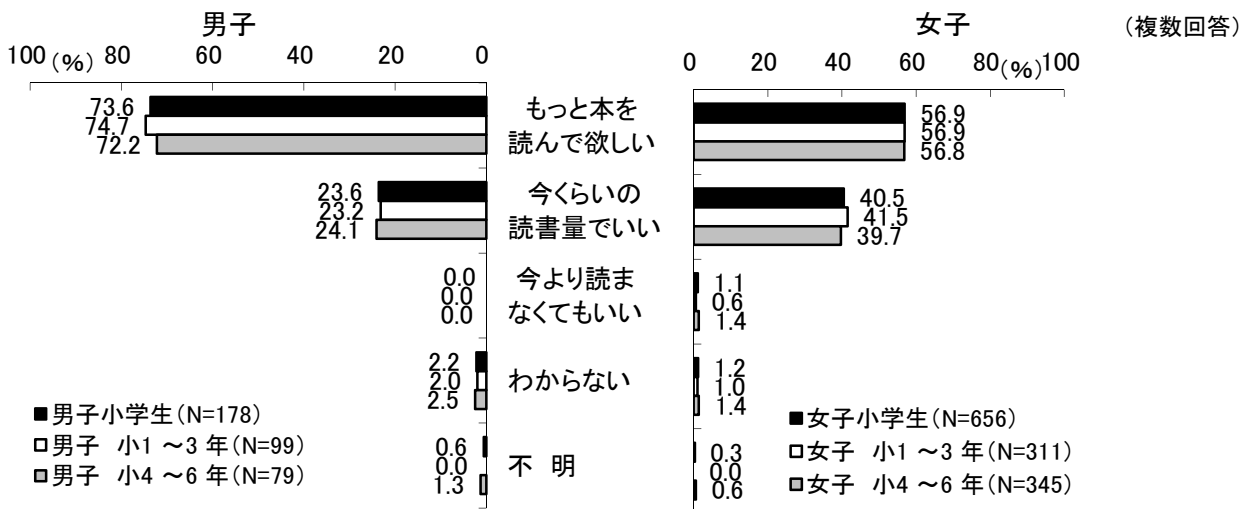
## ■保護者の方に質問

### (3) 子どもの読書について

#### ○ご自身のお子様の読書について

男子小学生の保護者の 74%、女子小学生の保護者の 57%が自分の子どもに「もっと本を読んで欲しい」と回答。

小学生の保護者にご自身のお子様の読書について聞いたところ、男子小学生の保護者の 74%、女子小学生の保護者の 57%が「もっと本を読んで欲しい」と回答。一方、「今くらいの読書量」で良いが男子小学生の保護者は 24%、女子小学生の保護者が 41%。

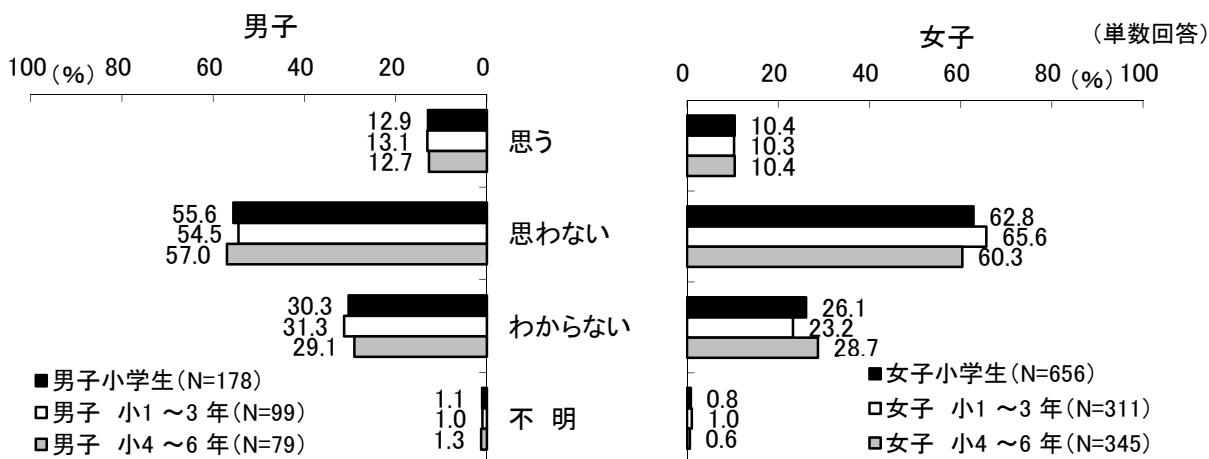


### (4) 子どもの電子書籍・電子雑誌の購読について

#### ○電子雑誌・電子書籍を子どもに読ませたいか

「思わない」が男子小学生の保護者が 56%、女子小学生の保護者が 63%。

小学生の保護者に電子雑誌・電子書籍を読ませたい(読んであげたい)か聞いたところ、男子小学生の保護者の 56%、女子小学生の保護者の 63%が「思わない」と回答。「思う」はそれぞれ 13%と 10%。

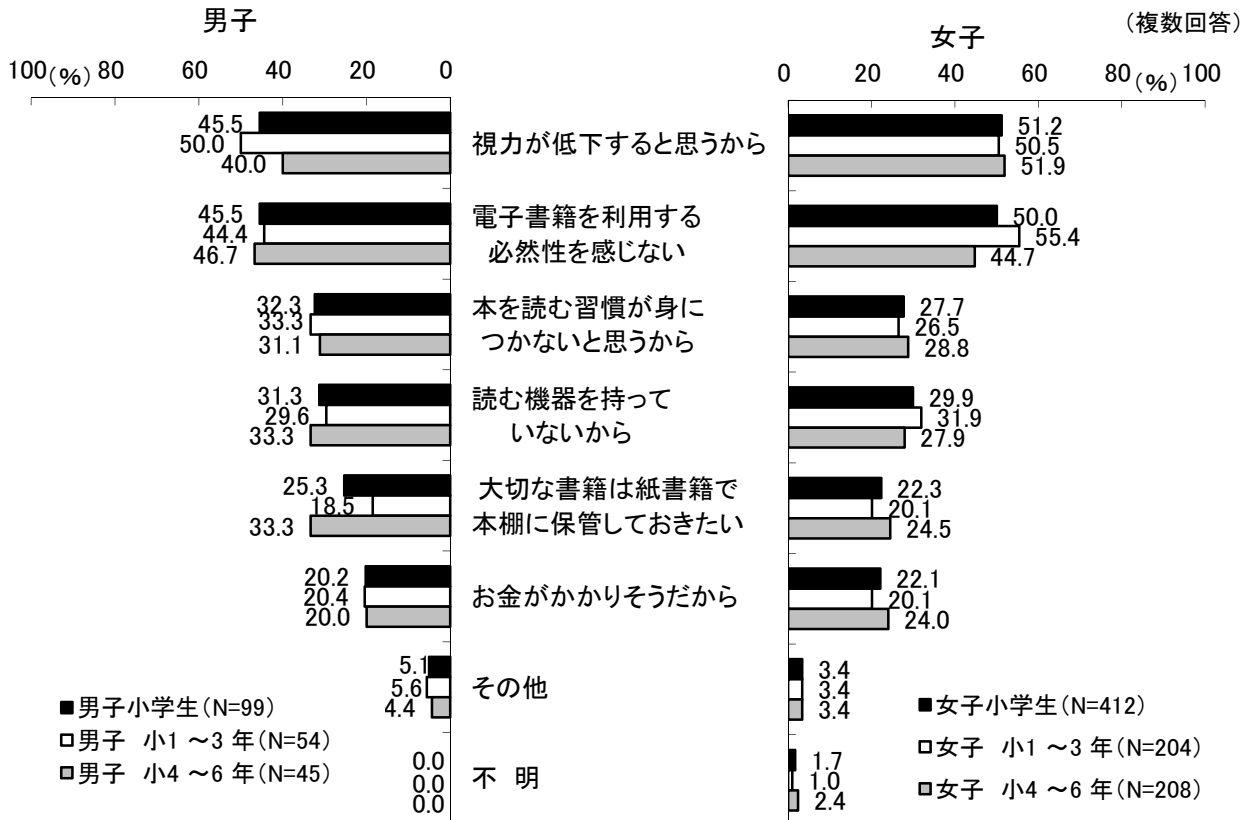




○電子雑誌・電子書籍を「読ませたいと思わない」理由

男子小学生の保護者 46%、女子小学生の保護者が 51%が「視力が低下する」と思っている。

電子書籍・電子雑誌を読ませたくない理由を聞いたところ、「視力が低下する」がもっと高く、次いで「利用する必然性を感じない」。「本を読む習慣が身につかない」と考える保護者も3割程度いる。



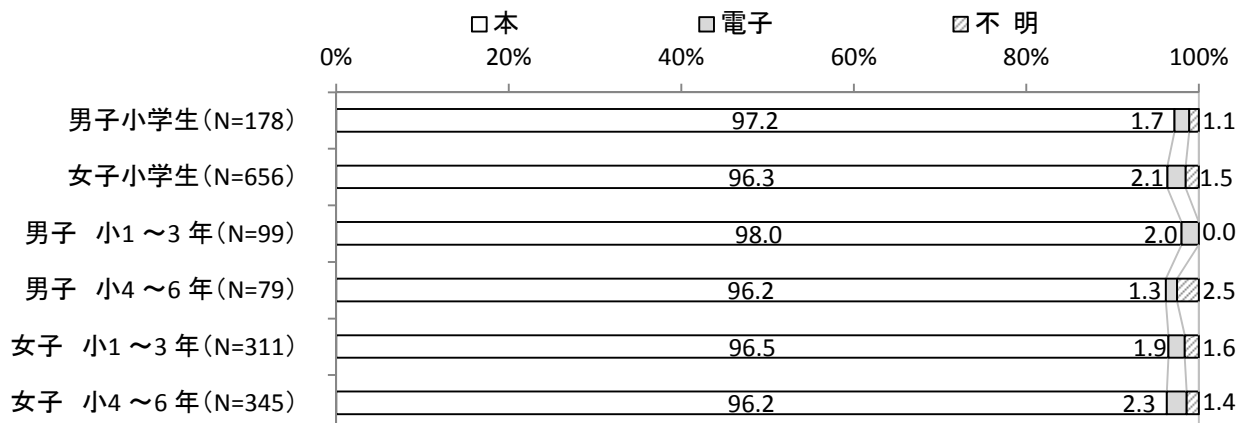
○紙の書籍で読ませたいか、電子で読ませたいか

辞典は「電子で読ませたい」が3割程度。

「絵本・童話」「小説」「参考書・教科書」「辞典」「コミック」を「紙で読ませたいか」「電子で読ませたいか」聞いたところ、「電子で読ませたい」は「辞典」が最も高く3割弱程度。「絵本・童話」は、2%程度。

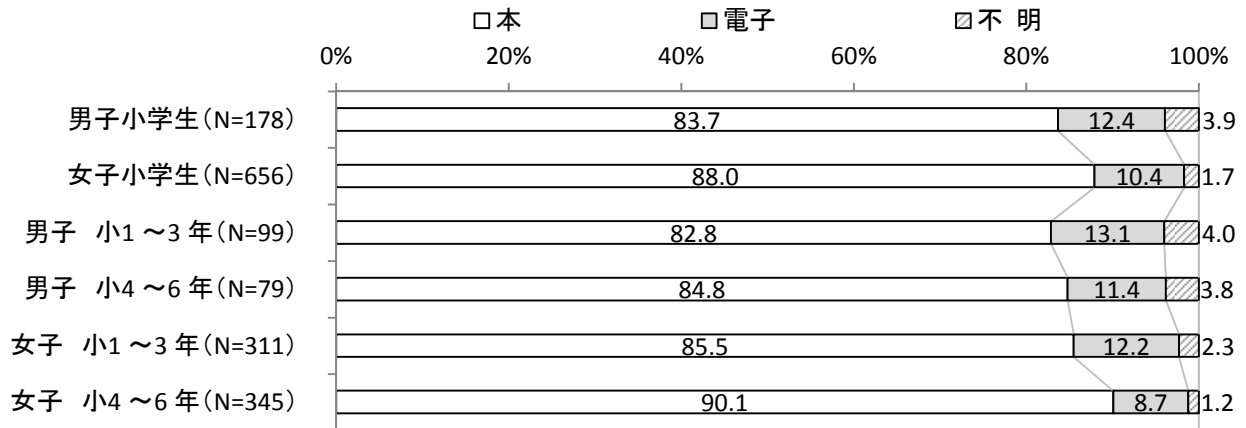
① 絵本・童話

(単数回答)



②小説

(単数回答)



③参考書・教科書

(単数回答)



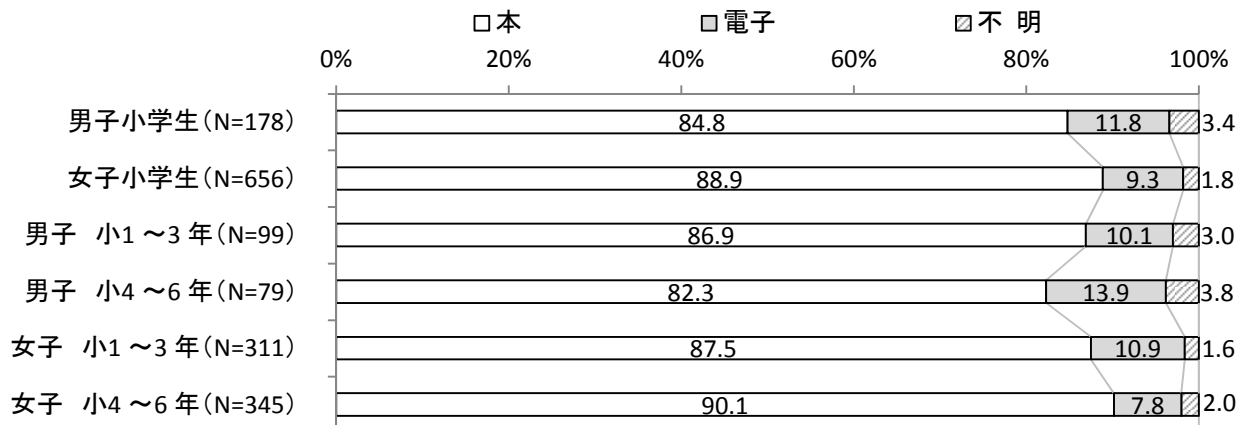
④辞典

(単数回答)



⑤コミック

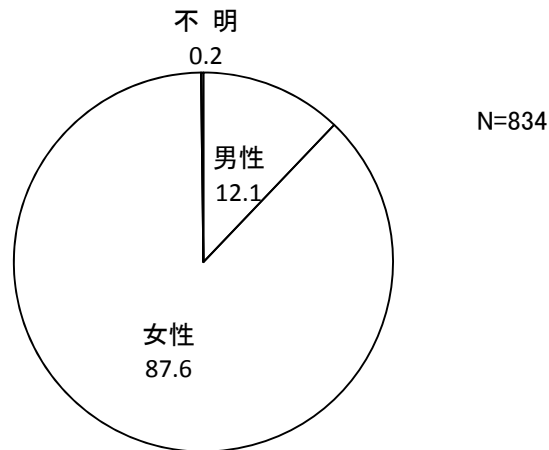
(単数回答)



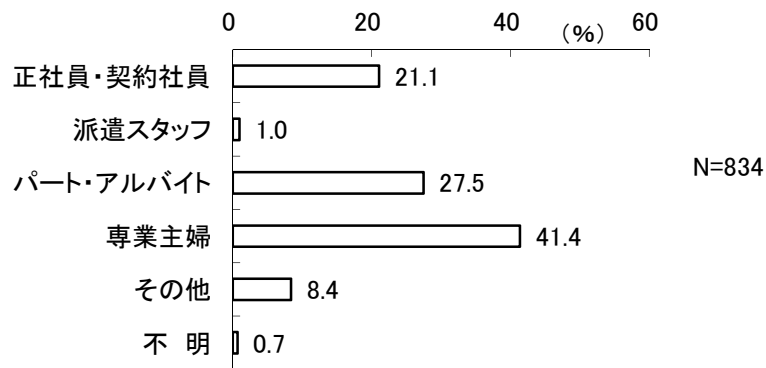
○保護者のプロフィール

性別は、女性 88%、男性 12%。年齢 30代～40代 93%。

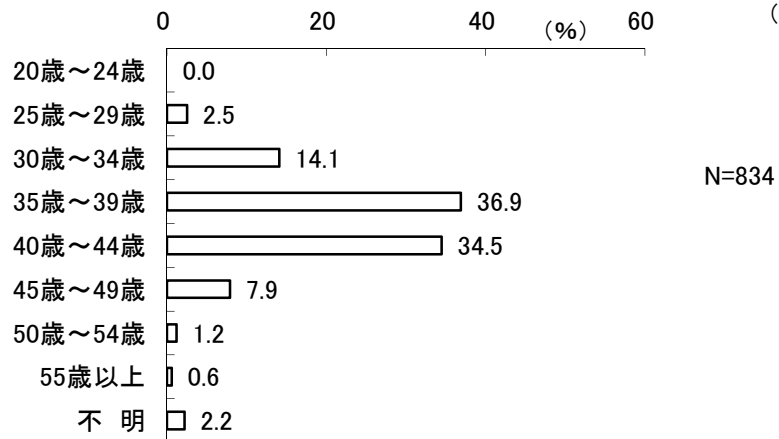
(単数回答)



(単数回答)



(単数回答)



## 【調査対象の雑誌媒体について】

今回の調査は、以下の2誌の読者を対象に行ったものです。



雑誌名	: 「デンゲキニンテンドーDS」
内容	: 小学生のためのゲーム情報誌
発行形態	: 毎月21日発売
発行部数	: 160,000部
定価	: 590円(税込)
男女比	: 男80、女20
平均年齢	: 10.4歳
※2012年3月21日(水)発売の5月号より誌名が「デンゲキニンテンドー for KIDS」に変更になります。	



雑誌名	: 「キャラぱふえ」
内容	: 女の子のためのゲーム&キャラクター情報誌
発行形態	: 偶数月1日発売
発行部数	: 180,000部
定価	: 650円(税込)
男女比	: 女100
平均年齢	: 8.7歳

**【アスキー総合研究所】** URL:<http://research.ascii.jp/>

アスキー総合研究所は、株式会社アスキー・メディアワークスの法人向けリサーチ・メディア部門です。

コンテンツ、カルチャー、および Web、PC、携帯電話、スマートフォンなどによるコミュニケーションを対象として、法人向けに調査・分析データの販売を行っています。

〒102-8584 東京都千代田区富士見一丁目 8 番 19 号 角川第 3 本社ビル

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 TEL:03-5216-8125

**【株式会社アスキー・メディアワークス】** URL:<http://asciimw.jp/>

出版を基盤としながら、コンテンツをクロスメディア、映像までメディアを超えてプロデュースするコンテンツ・プロデュース・カンパニーです。『アスキー』『電撃』という 2 つのブランドを軸として、《Entertainment》《Business》《Culture》という 3 つの事業領域にコンテンツを発信しています。

**【本件に関するお問い合わせ】**

株式会社アスキー・メディアワークス

アスキー総合研究所 TEL:03-5216-8125